

墮

ダ
イ
ン

奴

淫

ス
レ
イ
ブ

隷

(仮)

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

「んふ♥何度揉んでも癖になっちゃうわこのマシユマロおっぱい♥指が沈み込む感覚：ちつとも飽きないわ♥」

「勝手に病み付きになつてろこの変態ツ：こちとら癖どころか好き勝手に胸触られて気分が最悪にしかなら：んひいッ♥♥」

「嘘はだめよ♥こーやって乳首をいじめられるの好きな変態のくせに♥」
「やっ♥やめっ♥」
「乳首は：はああ♥」
「お：お前がッ：私を乳首好きにしたんだらうがああ♥」



「ほんとかわいい子♥
ますますあーし好みは
仕上げたくなるわね♥
ほらちゅーしましよ♥
「むぐっ!?んっ…んん…
やべえッ!ごいつのキス
抵抗できねえのにッ!

ごいつの舌が私の口内を
舌も唾液も蹂躪して
支配じにきやがるッ♥

畜生ッ♥なんでだッ
受け入れちまうッ♥

「ふはっ♥ご馳走様あ♥あんたの発情唾液のおかげで
あーしのおちんぽすっかり元気になっちやったじやない♥
あッ♥ダメだッ♥ごいつの勃起ちんぽ…これが
目の前に出てきた時点で負けちまうッ♥ちんぽの匂いが
鼻を駆け抜けて脳みそに届きやがるッ♥

「あらあら♥なんて
顔してるの♥
キスとちんぽ臭で
雌便器スイッチが
入っちやったかしら?
「ちがッ!♥
目が離せねえッ…
このままじゃ…
このままじゃあ…♥

はっ♥
はっ♥
はっ♥

「すっかりちんぽにぞっこんね♥
さあーで…今日も可愛い声を
聞かせてもらおうかしら♥」

「言われなくても…グツグツのあつつい精液
子宮にたっぷり注ぎ込んだげる♡
ありがたく受け取りなさい♡♡♡」
「うおっ♡おっ♡おおお♡♡♡♡♡」

オー♡
オッ♡

ヒュッ♡

ヒュルルルル

ヒュッ♡

ヒュッ♡

「熱ッ♡熱いいい♡
子宮がツ♡
焼けちまっ♡うっ♡
「おっ♡おほっ♡
びゅーびゅー出るわッ♡
気持ちいい♡♡♡」

「あー出た出た♡
すっごい濃いのが出たわ♡
やっぱ装者のまんこは
射精の満足度もダンチいね♡」
「うッ…畜生…どんだけ
出すんだよバカ野郎ッ♡」

ヒュッ♡

ヒョロロロ

ヒョッ♡

「何言ってるのまだ金玉に貯めこんだ
精液の半分も出してないわよ？」
嘘だろ…こっちはもう限界だったのに…
「今夜は寝かさないわよ♡あーん♡が満足するまで
犯じつくりして♡お風呂に入っても全身の精液臭が
取れないようにしてあげるわ♡」

ヒュッ♡

ヒョッ♡

「無理ッ♥やひゅまッ♥休ませてくりええ♥
「何言ってるのよまだたった7時間じゃない♥
こんなの準備運動にすらなっていないわ♥
「おぐッ♥オッ♥
おひよおおおおお♥
助けッ♥っへええ♥♥♥」

おお

おん

ぶわ

おん

ズン

ズン

「あ、腰が止まらないわ♥
もう病み付き♥若い膣肉最高♥
ほらもつとまん♥肉絞めなさい♥
「はひえ♥おぐお♥わかっひゃ♥
わかっひゃかりゃ♥♥♥」

「おらいけっ♥イけおら♥種付けしてやるッ
あーしの子種で孕ませられることを
— 光栄に思いなさいこの装者の面汚しッ♥」

「んひいひい♥
イグッ♥♥イグッ♥
イグッ♥♥♥イグッ♥♥♥

ズン

ズン

「はぁ〜ん♥満足満足♥今日も最高だったわよ♥
ほらあんたのまんこ汁とあーじの精液でちんぽが
びちゃびちゃちよ♥ほらお掃除して…つて
あらあら♥気絶しちゃってるじゃない♥」

「ちよつとやりすぎちゃったかしら…でもこのまま気絶まんこを
楽しませてもらうのもありかもしれないわね♥
明日は触手責め特化に改造したアルカノイズに責めさせ続けるか
こないだ完成した薬でちんぽ生やさせて調教するか迷うわね…
ちんぽ生やして触手責めにするのもおもしろそうだわ♥
ウフフ：こんない代物滅多に手に入らないから私好みだに
仕上げるまでこれから楽しませてもらおうわよ♥」

